5月園だより

めいろうこどもえん

２０１９年度　年主題　〈ことばに満たされて～ひびきあう～〉

0･1･2歳児５月主題　「見つけたよ」

月のねがい

◎神さまのお守りの中、園の生活に慣れ、穏やかなことばに満たされる(0)
◎周りのようすに気づく(0)　◎保育者のそばで遊びを見つける(0)
◎さんびかに親しむ(1.2)　◎あたたかい、穏やかなことばに満たされる(1.2)
◎園生活に慣れ、好きな遊びを見つける(1.2)
◎自然の中で花や虫を見つけ、保育者に伝えようとする(1.2)

3･4･5歳児５月主題　「見つけたよ」

月のねがい

◎さんびか、祈り、聖書のお話を通して神さま・イエスさまを身近に感じる
◎好きな場所や素材・遊具・花や虫などを見つけ、親しむ
◎安心して過ごす中で、気持ちを表したり、伝えたりする
◎季節にあった歌を歌ったり、保育者とわらべ歌やふれあい遊びを楽しむ

今月の聖句

「平和をつくるものは幸いです」

マタイ福音書5:9

平和は他人に求めるのではなく、自分が創り、自分が平和を実感するもの

平和は互いに他者と協力しなければならないことは勿論ですが、これが難しい。他者が納得して同調すればの話ですが、最終的には自分個人の決断の問題ではないでしょうか。自分がまず、平和を実践する者となる。もっと言えば、権利を主張せず、進んで損をする勇気を持つことです。自分の利益・自国の国益を優先させると平和は絶対築けません。自分が損をする、自分が傷つく、自分が死ぬ覚悟さえ定まれば、戦争は起きないでしょう。「失う者はそれを得、得ようとする者はそれを失う」のです。452 年フン族がローマに侵攻したとき、時の教皇レオ１世は話し合いによって、戦わずして平和を実現しました。永生中立国スイスは軍隊を持たない国で、他国から攻撃されたことはありません。 1948 年南米コスタリカでは、軍隊を廃し、武器購入予算を福祉に向けました。欧米諸国と集団安全保障を結んではしますが、米軍の駐留を拒否しています。「負けるが勝ち」ともいわれます。

幼な子たちに、この真理を学んでもらいたいものです。神さまに信頼すれば心が平安になり、自分自身のうちにまず平和が築かれます。

牧師・前理事長　池田公栄

５月の行事予定

８日（水）	交通安全教室
８～１７日	家庭訪問
９日（木）	給食試食会（すみれ）
１４日（火）	弁当日
１６日（木）	５月誕生会
１６日（木）	給食試食会(こすもす･たんぽぽ)
２２日（水）	内科検診
２３日（木）	避難訓練
２８日（火）	消防署見学(年中・長),弁当日
２９日（水）	〃　(すみれ･あじさい)

６月の行事予定

５日（水）	歯科検診
１５日（土）	家族の日参観
２０日（木）	弁当日
２６日（水）	６月誕生会

～給食試食会～

～交通安全教室～

～田植え～

～消防署見学～

～誕生会～

～内科検診～

ひとつ大きくなったね！うれしいね！

新年度がスタートし、早くも1ヶ月が経ちました。4月の初めは小さなお友だちは泣き声の大合唱でしたが、少しずつ笑顔で過ごせる時間も増えてきました。進級したお友だちもちょっぴり緊張した表情でしたが、新しいクラスのネームを「すみれさんだよ！」「スーパーこすもす組だよ！！」と誇らし気に見せに来てくれました。

めいろうこども園のとーっても広い園庭では、もも組さんはヨチヨチ歩きで探検中！「テントウムシだよ！」とお兄ちゃんたちが見せてくれたり、ピーピー笛（からすのえんどう）の音が聞こると不思議そうにしたり、お兄ちゃん、お姉ちゃんたちにいっぱい刺激をもらいながら遊んでいます。今年の大きなお友だちはもも組さんの様子が気になるようで、お部屋をよく覗きに来ては、「お名前なーに？」と興味津々の様子です。「荷物持ってあげようか？」とお手伝いをしてくれたり、「お部屋に一緒に行こう！」と手を差し出してくれたり優しい姿がたくさん見られました。何年か前までもも組だった子どもたちが、いつの間にかお兄ちゃん、お姉ちゃんになったなぁとうれしく思います。

今年はとても長い連休なので、また登園を渋ることもあると思います。朝はいつもどおりに、”いってらっしゃい”と元気に見送って、帰ってきたら“頑張ったね”と、ぎゅーっと抱きしめてあげてくださいね。きっとお子さんの心にパワーが湧いてくると思います。田んぼのおたまじゃくしはかえるになったかな？ダンゴムシはどこにいるかな？子どもたちが目をキラキラさせ、気づき、感じ、遊びながら春を満喫したいと思います。

大河

あそんであそんで人間になる

新緑の木々の薫りが園庭を包み、豊かな自然の息吹を感じさせます。今が盛りの月見草や花々が、美しい彩りを添えて微笑んでいるようです。子どもたちの泣き声や笑い声に包まれる空間は、生命の活力に満たされ愛しいもの。いよいよ始まる令和の時代が、すべての人にとって平安でありますよう祈ります。

新年度を迎えて、あっという間に三週間が過ぎました。玄関での泣き声も少なくなり、少しずつ自分の居場所を見つけ始めた子どもたちです。周囲の様子を観察しつつ、一日の流れや約束事を理解し始めているのでしょう。周囲の子どもたちのことにも関心が向き、徐々に関わりも高まってきます。それに伴い、自己主張の衝突も出てくるということになります。いつも仲良く遊んで欲しいと大人は願いますが、様々な心の葛藤や交流を経て、互いを認め合う関係になっていくのを見守ることも大切ですね。何よりも保護者の皆さんが、お子さんのありのままをしっかり受け止めてくださる安全基地であることです。「泣いてもいいんだよ！」「いっぱいあそんでおいで！」それが見えない根を支える大地なのです。

遊びというと、日本ではあまり良いイメージではないようです。「遊び人」「遊興」「夜遊び」等々。「遊び」を国語辞典で引くと、いくつか目に「気持ちのゆとり」と「機械の連結部分に少しゆとりがあること」とあります。子育て中の保護者や保育者にもこの「遊び」が必要ではないでしょうか。子どもへの愛情の下に、何歳だからこれができなければならない、中学生ならこうあるべしと、型にはめて押しつけるのは如何なものか。レーシングカーのように「遊び」の少ない運転で、大人に併走されると、子どもの運転も振動（困難）が拡散されず、大事故に繋がってしまうかもしれません。我々の心の余裕もこれと同じことですね。どうしても譲れない一線も必要でしょうが、厳格すぎてもあちらこちらに角が立ってしまいます。それに比べて、子どもたちの「あそび」には、まさに本能的・天才的な間（余裕）が存在しているようです。集団の中で生まれる絶妙な距離感と自己主張のバランスがまさに子どもの真骨頂です。乳幼児期は様々な能力が個別に発達していくのではく、相互に関連し合い、総合的に発達していくものです。何よりもあそびの経験が大切ですね。『遊びをせむとや生まれけむ』子どもに習い、私たちもほどよい「あそび」を持って子どもたちに接していきたいものです。

子どもによっては、そろそろ疲れが出始める頃です。連休をご家族で楽しまれながら、どうぞ十分な休養もお願いしたいと思います。梅雨時を元気に乗り越えるためにも、毎日の変化に応じた対応や食事・睡眠に留意し、保護者の皆様のご協力をいただきながら楽しい園生活を支えていきたいと思います。

園　長

からだをつかっていっぱいあそぼうね！

いろんな活動や行事には体力が必要です。成長の基礎となるからだ作りは、幼児期に大切なもの。子どもたちは、頭と身体をフル回転させながら探求と交わりを深め、日々体幹を整えていきます！

どかんのトンネル

ネットクライミング

ぐらぐらばし

くねくねばし

アスレチックス

タイヤころがし

いっぽんばし

たいこばし

つりばしとりで

うんてい